

自然災害発生及び警報発表・避難情報発令時等に伴う学校の対応

【2026年度版】

浜松市教育委員会・浜松市立西都台小学校〔TEL 4 4 9 - 1 3 3 6〕

- ・災害発生時の状況によっては、学校から保護者へ連絡ができない場合があります。本資料の対応を参考にするとともに、自宅周辺が自然災害等の影響で危険な状況にあり、「子供が安全に登校することができない」と保護者が判断した場合は、登校を控え、自宅等で子供の安全を確保してください。
- ・本校の対応は以下のとおりですが、きょうだい関係に配慮し、中学校区で対応を揃える場合があります。
- ・さくら連絡網は、災害時の緊急連絡や安否確認等にも利用しますので、登録をお願いします。

地震発生に伴う対応

本校は、中央区で観測された震度を基準とします。

震度	登校前	在校時	下校手段
震度4以下	開校	活動継続	通常通りの下校
震度5弱以上	休校	活動中止・避難 ⇒一旦留め置き	安全が確認された後、 ・引き渡し（学校または避難場所）

*震度が小さい場合であっても、状況によっては「休校」等の対応とする場合があります。

【例】・学校施設や、電気・ガス・水道・トイレ等が使用できない

・通学路の安全が確認できない、被害状況の把握に時間を要する 等

*震度が大きい場合であっても、学校や地域に大きな被害がないことが確認できた場合は「開校」等の対応とする場合があります。

*引き渡しの際には、学校周辺の混雑が予想されますので、自家用車での来校は御遠慮ください。

なお、保護者の皆様も、余震等に十分注意してご自身の安全確保をお願いします。

【補足】南海トラフ地震に関連する情報について

予兆となる現象が発生した場合、テレビやラジオ等をとおして、気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。その場合、学校は原則として「開校」とします。状況によっては、対応について教育委員会と協議し判断します。

津波警報等発表に伴う対応

本校の学区は、浜松市津波避難計画により「避難対象地区」に指定されています。

注意報・警報	登校前	在校時	下校手段
津波注意報	開校	活動継続	通常通りの下校
津波警報 大津波警報	休校	活動中止・避難 ⇒一旦留め置き	引き渡し（学校または避難場所）

*沿岸部、川沿いで活動している場合はただちに中止し、安全な場所に避難します。

*地震が発生している場合は、上記「地震発生に伴う対応」と合わせて判断します。

気象情報発表に伴う対応

本校は、「遠州南」または「浜松市南部」への発表を基準とします。

注意報・警報	登校前	在校時	下校手段
注意報	開校	活動継続	通常通りの下校
暴風警報 大雪警報 暴風雪警報 (特別警報含む)	午前7時 の時点で 休校	状況に応じて検討 ・活動継続 ・活動中止 ・一旦留め置き ・下校	安全が確認された後、状況に応じて、 ・引き渡し（学校または避難場所） ・職員引率による集団下校 ・集団下校 ・通常通りの下校

*状況によっては、子供の安全を第一に考え、上記とは異なる対応を行う場合があります。

避難情報発令に伴う対応

本校は、以下のケースに関する「避難情報発令」を基準とします。

災害のケース	避難情報発令対象地区
天竜川が想定最大規模の氾濫が起こる可能性が高まった場合	浜松市中央区
土砂災害が起こる危険性が高まった場合	入野地区

避難情報	登校前	在校時	下校手段
警戒レベル3 「高齢者等避難」 警戒レベル4 「避難指示」 警戒レベル5 「緊急安全確保」	午前7時 の時点で休校 ※堀留川の内水氾濫 については 「原則開校」	状況に応じて検討 ・活動継続 ・活動中止 ・一旦留め置き ・下校	安全が確認された後、状況に応じて、 ・引き渡し（学校または避難場所） ・職員引率による集団下校 ・集団下校 ・通常通りの下校

*状況によっては、子供の安全を第一に考え、上記とは異なる対応を行う場合があります。

学校または地域の停電発生に伴う対応

停電情報	登校前	在校時	下校手段
学校または地域の停電	午前7時 の時点で休校	状況に応じて検討 ・活動継続 ・活動中止 ・一旦留め置き ・下校	安全が確認された後、状況に応じて、 ・引き渡し（学校または避難場所） ・職員引率による集団下校 ・集団下校 ・通常通りの下校

*学校や地域に大きな被害がないことが確認できた場合は「開校」等の対応とする場合があります。

家庭での確認

登下校中や放課後の自然災害発生に備え、避難する場所（自宅や学校、避難所、津波避難ビルなど）や通学路の危険箇所などを、日頃から家族で話し合い、確認しておきましょう。

